



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



今年の大雪、各地で被害発生。長坂まさし市議と小国町を視察

小国町で大雪被害を視察・調査



2/22小国町で大雪被害を視察する遠藤れい子

2月22日、遠藤れい子は長坂まさし市会議員と共に長岡市小国地域の大雪被害を現地視察しました。地域唯一のスーパー「もったいない村」の雁木が倒壊、太い柱が折れていました。また、屋根のひさしが折れている数軒の要援護世帯や自然落下式の作業場の屋根は降雪が多すぎて落下出来なくなり倒壊してしまいうなど大きな被害です。短期間に集中的に多くの雪が降り続き、家の周囲の雪の処理ができなかった。業者に頼んでも人手不足と依頼が多すぎて間に合わな

「重要な政策転換を、なんとしてもやり抜いていけ」。国民から力強く背中を押してもらった」。高市早苗首相の20日の施政方針演説。しかし、私たちは総選挙で、高市首相に「白紙委任」を与えた訳ではありません。■「責任ある積極財政」言うも財源示さず、消費税減税は国民会議に丸投げ

「白紙委任はしていない」市民運動で示す

高市首相は「これまでの政策のあり方を根本的に転換していく。その本丸は、『責任ある積極財政』だ」として「長年続いてきた過度な緊縮志向、未来への投資不足の流れを断ち切る」と強調。そもそも、歴代自民党政権は「過度な緊縮志向」どころか、大企業には大盤振る舞いの経済政策を進めてき



毎週月曜、中之島支所前でスタンディングする遠藤れい子

豪雪それ自体が災害 災害救助法の対象を要援護世帯や家屋のみなど狭くとらえるのではなく、車庫や農舎なども対象に対応しないと被害が広がります。そしてマンパワー不足は深刻です。平素から他市で行っている大学との協働などでマニュアル化するなどの必要性を感じました。

ロシアによるウクライナへの全面侵略開始から24日で丸4年となります。両国の和平交渉の最中でもロシア軍によるウクライナ民間人への攻撃が続き、国連ウクライナ人権監視団(HRRMMU)が1月に発表した報告によると、22年2月以降の死者は1万4999人、負傷者は4万601人にのぼりました。国連難民高等弁務官事務所(UHCR)によると

ロシアによるウクライナ侵略4年

国外で難民となっているウクライナ人は約590万人 国内避難民数は約370万人で、1080万人以上が現在も人道支援を必要としています。
（出所）米シンクタンク「戦争研究所」
（しんぶん赤旗）2月23日号転載

遠藤れい子の笑顔でファイト